

別紙 1

本年度における制作のイメージ

本健康情報誌を発行する目的は、読者の行動変容を引き起こすこと、つまり、健康的な生活習慣を実践してもらうことである。そのためには、健康的な生活習慣を実践することがもたらすベネフィットを、効果的にアピールする必要がある。

重要なのは、対象となるターゲット層がどういったことをベネフィットと感じるか、である。従来の健康あいらんどでは、メタボやロコモ、多量飲酒といったワードで読者を“うちあたり”させて本誌に興味を持たせ、“健康を維持する”というシンプルかつ究極的なベネフィットをアピールし、そのための情報を提供することで行動を促すというアプローチを行っていた。これは、自らの健康に不安を感じている（もしくは漠然とだが感じ始めている）壮年期の読者に対して非常に有効であったと思われる。

しかし、健康づくりに無関心な若年層がメインターゲットである本年度においては、このアプローチ手法を大きく変更する必要があると考える。一般的に壮年期世代と違い、若年層の多くは自らの健康に不安を抱いておらず、肥満や生活習慣病といったワードにうちあたりすることもないため、健康増進をうたっても行動変容に繋がるモチベーションとなりにくい。

そこで本年度においては、食やスポーツなど様々な話題と関連させ、従来とは違った切り口（例えば、健康づくりがもたらす直接的な利益（健康増進）だけでなくそれに伴う副次的な利益（その他の経済的、精神的、肉体的メリット）に着目した内容）から若者世代に訴求を行い、健康づくり（に繋がるような行動）のきっかけづくりに繋がるような内容を目指す。

	従来の健康あいらんど	本年度のイメージ
ターゲット	全県民（特に働き盛り世代）	全県民が対象であるが、特に健康づくりに関心が薄い若年層
デザイン	シンプルで牧歌的。温かみや良い意味でのローカル感があり親しみやすい	（親しみやすさは残しつつも）洗練された、高いデザイン性が求められる 健康づくりに関心のない若者でも手に取ってみたいくなるようなデザインが必要
テーマ	健康沖縄 21 計画を踏まえ、準じたテーマを選択	従来通り沖縄県の実情に即したテーマを設定するが、「健康づくり」という言葉をより広い意味でとらえ、様々な切り口から若者の関心を引くような話題と関連付けたテーマ設定を行う。
内容	「健康情報の提供」という性格が強い	健康情報の提供という要素は残しつつ、無関心層に“健康づくり”に興味を持たせる、考えるきっかけをつくるということに、より重点を置いた内容とする